

Composer バージョン 8.4.1 リリースノート

Copyright 2023, Symetrix, Inc.

March, 2023 年 3 月リリース

株式会社オーディオブレインズ
2023 年 3 月

AUDIO))) BRAINS

概要

イントロダクション

- I) 旧バージョンとの比較
- II) 修正された不具合
- III) インストレーションノート
- IV) ファームウェア V8.4.1 へのアップグレード
- V) 以前の Composer サイトファイル更新の際の注意事項
- VI) Dante モードの切り替え

イントロダクション

このドキュメントは Composer version 8.4.1 のユーザーのための書類です。新規の Composer ユーザーの場合は [Audiobrain WEB site](#) から前バージョンのリリースノートを探すことも可能です。

I) 旧バージョンとの比較

Version 8.4.1 の修正、改善点

- 1) Brooklyn 3が搭載されたxOut12でファン速度が正しくレポートされない問題
- 2) Txバスを削除した後にxIn12が応答しなくなる問題
- 3) T-5のアップグレードの信頼性を向上
- 4) その他様々なマイナーエラーを修正しました

Composer 8.4 はメジャーアップデートであり、様々な機能が追加されています。

Version 8.4 の新機能

5) Brooklyn 3をサポートしました

- ✓ 全てのSymetrix DSPがAudinate Brooklyn 3 Danteモジュールに対応しました
- ✓ 内蔵されているDanteカードがフロントパネル画面に表示されるようになりました。
確認するにはボタンを長押ししてSystem Pageに入ります。

6) Intelligent ModuleでSSH Lua APIを使用できるようになりました。

- ✓ SSH通信を必要とするサービスとIntelligent Moduleを簡単に接続できるようになりました。

7) T-10ファストスクリーンスイッチング

- ✓ T-10のコントロール画面の切り替えが高速になりました。

8) RadiusNXとUSBオプションカードでUSB HID機能が追加されました。

- ✓ 一般的なUCアプリケーションのコントロールやステータス表示ができるようになりました。
- ✓ 現在Microsoft TeamsおよびGoogle Meetのみで動作します。その他のUCアプリケーションについてもアップデートにて対応予定です。
- ✓ この機能はベータ版となり、全ての機能を100%保証するものではありません。

Version 8.4 の修正点

- 1) **Composer** : Disable設定の機器からのコントロールが含まれる場合、ControlScreenが正常に動作しないことがありました
- 2) **Composer** : Loudspeaker ManagerのHPF/LPFの6dB/octが選択できませんでした
- 3) **Composer** : Gain-sharing Echo Reducerモジュールのラベルを修正
- 4) **Composer** : ファームウェアのアップデートエラーのメッセージをより具体的に変更
- 5) **Composer** : マトリクスミキサーでチャンネル名が編集できないことがありました
- 6) **Composer** : Linkwitz-Rileyを使用したCrossoverモジュールでプリセットを呼び出した時にローフィルターグラフィックが正常に更新されませんでした
- 7) **Composer** : オプションリストのドロップダウンメニューからボタンを消すと正常にグラデーションカラーが表示しませんでした
- 8) **Composer** : 3rd Party Dante DevicesのDanteのチャンネル名を変更した後プッシュに失敗することがありました
- 9) **Control Server** : Intelligent Module上のボタンをControl Server上で実行すると、ボタンが正常に動作しないことがありました
- 10) **Control Server** : 米国以外のタイムゾーンでControl Server上から新しいイベントを作成すると、間違った時間に設定されることがありました
- 11) **Dante Firmware** : 全てのDSPとxIn12、XOut12のDante Firmwareをv4.2.0.28に更新しました
- 12) **DSP** : Flex EQの低音域のレスポンスを改善しました
- 13) **Edge** : カードがないEdgeでシステムMuteが機能しない問題を修正しました
- 14) **Lua** : HTTP APIでUserとPasswordのパラメーターをリクエストにパスできないことがありました
- 15) **Lua** : TcpSocket APIのマイナー問題を解決しました
- 16) **Prism4x4** : LLDPによるPoE+の信頼性を向上しました
- 17) **RadiusNX** : セカンダリのDanteポートに接続した場合、フロントパネルのDante LEDが点灯しないことがありました
- 18) **RadiusNX** : USB Playbackモジュールでループ再生時にStatusフィールドと再生中ファイルが一致しないことがありました
- 19) **T-10** : SymVue上のプリセットボタンでT-10の画面輝度を変更できない問題を修正しました
- 20) **T-10** : ロック解除に使用する番号パッドの大きさを変更しました
- 21) **T-10** : T-10のプロパティでスリープがenableでない場合はスリープしません
- 22) **Tシリーズ** : フェーダー上に画像を重ねると画像の順序が正常でなかった問題を修正しました
- 23) **Control Server** : 米国以外のタイムゾーンでControl Server上から新しいイベントを作成すると、間違った時間に設定されることがありました
- 24) **USB** : USBをホットスワップするとオーディオが再生されない問題を修正しました
- 25) ヘルプファイルの追加と修正
- 26) その他様々なマイナーエラーを修正しました

II) 既知の不具合

- 1) T-5/T-5 Glassをv8.3/8.2からv8.1やv8.0へダウングレードすることはできません。ダウングレードするとSymetrixのロゴのみが表示され動作しません。再びv8.3/8.2にアップグレードすることで復帰します。
- 2) Danteのリダンダンシーモードの設定変更を行った場合にDante信号が出力されないことがあります。詳細は、VI) Dante、ネットワークスイッチ使用とリダンダントモードの切り替え を参照してください。
- 3) Composerが機器の検索に失敗することがあります。この場合Windowsのファイアウォールの設定にComposer84.exeを追加し再起動してください。
- 4) Radius NXの外付けUSBドライブにアクセスする機能を同時に使用するとパフォーマンスが低下する可能性があります。FTP、メディアマネージャーを介したファイルの記録、再生、アクセスなどで、これらの機能の使用は最大で2つを推奨します。
- 5) Radius NXのUSBレコード機能は、1つのファイルあたり4GBに制限されています。これを超えた場合ファイルは分割されます。
- 6) Radius NXのRecord/Playback機能に低品質なUSBドライブを使用すると、パフォーマンスの低下や機器のリポートなどが発生する可能性があります。
- 7) 英数以外の文字を含むプレイリストはMediaManagerを使用して編集することはできません。その場合はFTPを使用し手動で編集してください。同様に、英数以外の文字を含むオーディオファイルはMediaManagerからプレビューすることはできません。
- 8) 全てのデバイスをミュートするプリセットを使用する場合にAtteroTech社やその他サードパーティーデバイスの機器がミュートされない場合があります。
- 9) xIn, xOut, xIOもしくはサードパーティー製のDanteユニットがネットワークに接続された場合に、Composerから認識されるのに最長2分程度かかる場合があります。また接続解除時も最大1分間程Composer上に表示が残る場合があります。
- 10) Composer上で一部の制御がSymVueに反映されません。詳細はヘルプファイル内のSymVueトピックを参照してください。
- 11) SymVueで大規模の複雑なコマンドを設定する場合、処理に時間がかかることがあります。
- 12) 大規模なマトリクスを設定をプリセットに100個以上保存すると処理速度が低下することがあります。
- 13) SymVueでShure社のマイクロホン制御を含むプログラムを作成した場合、処理速度が落ちることがあります。Shure社のマイクロホンのコントロールを最小限にすることでパフォーマンスレベルを維持できます。

- 14) 稀にSymVueパネルとコントロールスクリーンのディスプレイ表示と数値に差があります。例えば British EQの周波数表示でコントロールスクリーンが200,000Hzを示している時、パネル側では 200,002Hzと表示されます。この差は0.002%未満の相違のため無視しても全く問題になりません。
- 15) オクターブとQ表示を変更できるEQモジュールを使用する場合、SymVueパネルではオクターブ設定にしているとしても常にQの表示になってしまいます。エクスポート時に作られた設定が反映されるため、エクスポート後に表示単位を変えても反映されません。エクスポート後に表示を変更できるようにしないでください。
- 16) 背景イメージをコントロールスクリーンで使う場合に背景イメージを選択してしまい、操作したいコントロール項目が触りにくい。避けるためには背景イメージを右クリックにてロックし、Altキーを押しながらコントロール項目の設定を行ってください。
- 17) DTMFデコーダーモジュールでDTMFシーケンスはプリセットに保存されません。この設定はセッティングファイルには保存されます。
- 18) 対応するフェーダー無しに数値ボックスをコントロールスクリーンに配置した場合、正常にアップデートされない事があります。必ずフェーダーも同時に配置してください。
- 19) 1つのシステムにDanteデバイスはSymetrixDSPを含み最大128台までが許可されています。128台を超えると特定のデバイスが見つけれなくなる場合があります。
- 20) ARC-WEBダイアラーでスピードダイヤルに数千を超える膨大な文字が入力されていると正常に動作しないことがあります。通常の使用方法で問題になることはありません。
- 21) xIn4、xOut4、xIO4x4デバイスのDante Kernelファームウェアをアップグレードする際、Danteネットワーク上に大量のDanteデバイスがあるとアップデートは成功したのにも関わらず失敗のメッセージを表示することがあります。エラーメッセージを表示せずにアップグレードしたい場合はxIO4デバイスを1台ずつ、1台のDSPに接続しアップグレードを行ってください。
- 22) セキュリティソフトが作動している場合、稀にWebモニタリングが正常に行えないことがあります。その場合はセキュリティソフトをOffにするかDSPユニットのIPアドレスをセーフリストに追加してください。

III) インストレーションノート

既に導入済みの設備の機材をアップグレードする場合は下記の手順を推奨します。

1. 現在のサイトファイルを保管していることを確認してください。 (拡張子.symx のファイル)。既に PC に保存されている場合は手順 2 に進んでください。サイトファイルを保管していない場合、以前の Composer ソフトウェアにて SymetrixDSP と通信し“Go On-line (Pull from Unit) ”を行い、SymetrixDSP からサイトファイルを引き出して保存及び保管してください。
2. “Upgrade Firmware”ウインドウから“Erase Memory”をクリックし“Stored Site File”にのみチェックいれ“ERASE”をクリックしてください。この作業は接続されている機器全てに行ってください。
3. ファームウェアをアップグレードして下さい。
4. お持ちのサイトファイルを SymetrixDSP ハードウェアにプッシュしてください。Composer 8.4 を開き>**Go On-line (Push Design to Hardware)** を実行します。

上記の手順を行えばハードウェアと Composer ソフトウェアのバージョンが一致しシステムの正常動作が保証されます。

Composer ソフトウェア 8.4 は以前のバージョンの Composer ソフトウェアとは別のロケーションに保存され、以前のバージョンとは干渉しないよう設計されています。そのため Composer ソフトウェアは以前のバージョンの Composer ソフトウェアと同じ PC 内に共存することができます。

ただしハードウェアのファームウェアバージョンと Composer ソフトウェアは正常な通信を確保する為に同じバージョンでないといけません。ファームウェアとソフトウェアが異なるバージョンの場合はアラートが表示されます。

IV) アップデート手順

SymetrixDSP ファームウェアと Composer ソフトウェアのバージョンは必ず同じバージョンである必要があります。最新のファームウェアは常に最新の Composer ソフトウェアとセットで提供され、ソフトウェアのインストールと同時にコピーされます。最新のソフトウェアはオーディオブレインズホームページのダウンロードページよりダウンロード可能です。

Composer はファイルをプッシュする時に自動的にバージョンチェックを行い、Composer ソフトウェアと機器のバージョンが異なる場合はアラートが表示されアップデートウィンドウに誘導されます。これは全ての DSP と xIO ユニットを含みます。

アップデートを始めるには、まずアップデートするバージョンの Composer ソフトウェアをインストールし、その Composer ソフトウェアを開きます。

※Symetrix 機器のアップデート中はパワーアンプやスピーカーの電源をオフにするか、接続を外して音の出ない状態にしてください。

また、アップデート中は電源を切らないでください。正常に起動できなくなるおそれがあります。

サイトファイルを使用して DSP をアップデートする方法

1. コンピューターとシステムを接続し、全てのハードウェアをロケートします。既存のファイルがある場合はそのファイルを使用します。
2. Hardware メニューから“Upgrade Firmware/Hardware Setting”を選択してください。ウィンドウが表示されたら“Auto Upgrade All Design Units…”ボタンを押してください。サイトファイル内に配置された全てのハードウェアのファームウェアアップデートが行われます。

※この方法では xIO ユニット、ARC ユニットは自動的に更新されません。

サイトファイルを使用せずに 1 台ずつ手動で DSP をアップデートする方法

1. コンピューターと SymetrixDSP を接続します。
2. Hardware メニューから“System Manager”を選択してください。“Hardware”タブを選択するとコンピューターに接続されている全ての DSP ユニットが表示されます。
必要に応じて“Network Search Parameters”を設定してください。
3. アップデートするハードウェアを選択して“Upgrade Firmware”ボタンを押してください。
4. “Upgrade Firmware/Hardware Settings”ウィンドウが表示されます。
“Composer Firmware File”の下の“Upgrade…”ボタンを押してください。ファームウェアファイルを指定するウィンドウが表示されます。デフォルト設定では、C:\Program Files (x86)\Symetrix\Composer 8.4\Upgrade folder を参照します。正しいファイルを選択し“開く”を押してください。自動的にアップデートが始まります。
5. 複数のハードウェアのバージョンアップが必要な場合は上記手順を繰り返してください。

xIn12, xOut12, xIn4, xOut4, xIO4x4 のアップデート方法

1. SymtixDSP と xIn/xOut/xIO を接続してください。デバイスは必ず SymtixDSP の Dante ポートに接続されている必要があります。
2. 全ての DSP ユニットと xIO ユニットのロケートします。既存のファイルがある場合はそのファイルを使用します。
3. xIn/xOut/xIO ユニット上で右クリックし“**Unit Properties**”を選択してください
4. Firmware に現在の User バージョンと Kernel バージョンが表示されます。
5. “**Upgrade Firmware...**”ボタンを押してください。アップデートの必要がない場合は(will not be upgraded)と表示されます。“**Upgrade Firmware**”ボタンを押しアップグレードしてください。
6. 複数の xIO ユニットのバージョンアップが必要な場合は上記手順を繰り返してください。

ARC デバイスのファームウェアアップグレード

ARC デバイスのファームウェアアップグレードは下記の手順に従って行ってください。

※ARC デバイスはユニークアドレスを割り振る必要があります。

(通常ロータリーエンコーダーで設定します。ARC-3 の場合は設定モードに入る必要があります。)

サイトファイルを使用してアップデートする場合

1. 新規でファイルを作成する場合は、新規でファイルを作成し DSP のロケートを行います。ARC の設定も行う必要があります。
ARC デバイスが設定されたファイルを持っている場合はそのファイルを使用します。
2. Hardware メニューから“Upgrade Firmware/Hardware Settings...”を選択してください
3. プルダウンリストから ARC デバイスが接続されている DSP ユニットを選択して“Upgrade ARCs”をクリックします。
4. 接続されている ARC 機器の一覧が表示されます。アップデートが必要な機器は Status に“Please Upgrade to xxx”と表示されます。必要がない場合は“Current Release”と表示されます。
5. アップデートするデバイスを選択し“Upgrade Firmware”ボタンを押してください。
6. ファームウェアファイルを指定するウィンドウが表示されます。適切なファームウェアを選択し“開く”を押してください。自動的にアップデートがはじまります。
7. 複数の ARC デバイスのバージョンアップが必要な場合は上記手順を繰り返してください。

サイトファイルを使用しないでアップデートする場合

1. ARC デバイスを SymetrixDSP の ARC ポートに接続します。
2. Hardware メニューから“System Manager”を選択してください。“Hardware”タブを選択するとコンピューターに接続されている全ての DSP ユニットが表示されます。
必要に応じて“Network Search Parameters”を設定してください。
3. ARC デバイスを接続している DSP ユニットを選択して“Properties…”ボタンを押してください。
4. “Hardware Properties”ウインドウが表示されたら“RS-485 Network”タブを選択してください。
5. 接続されている ARC 機器の一覧が表示されます。アップデートが必要な機器は Status に“Please Upgtade to xxx”と表示されます。必要がない場合は“Current Release”と表示されます。
6. アップデートするデバイスを選択し“Upgrade Firmware”ボタンを押してください。
7. ファームウェアファイルを指定するウインドウが表示されます。適切なファームウェアを選択し”開く”を押してください。自動的にアップデートがはじまります。
8. 複数の ARC デバイスのバージョンアップが必要な場合は上記手順を繰り返してください。

V) 以前のサイトファイル更新の際の注意事項

Composer ソフトウェアはソフトウェアのバージョンごとにサイトファイル(.symx file)フォーマットが異なります。以前の Composer で作成されたサイトファイルは新しい Composer で開くことは可能です。しかし、作成されたサイトファイルが使用している Composer ソフトウェアよりも新しい Composer ソフトウェアで作成された場合はアラートが表示され、一部機能が正常に動作しない可能性がありますので動作の保証ができません。

もしコンピューターに複数の Composer を共存させる場合はファイルフォーマットの違いを最小限に収めるため下記の手順を推奨します：

- A) 以前のバージョンで作成したサイトファイルのバックアップを取っておく
- B) バージョン 8.4 のサイトファイルの名前を以前のバージョンのものと差別化して保存する
- C) ソフトウェアをインストールする際にデフォルトのロケーションを変えておく
- D) バージョン 8.4 ソフトウェアを以前のバージョンのファームウェアの機器と接続しない

A) バックアップファイル保存の推奨

新しい Composer ソフトウェアをインストール、もしくは使用する前に以前のバージョンのサイトファイルを保存しておくことを推奨します。保存しておくことで以前のセッティングを復元することが可能です。

※注意

新しい Composer で一度サイトファイルを保存すると以前のバージョンでは開けなくなる可能性があるため注意してください。

B) バージョンごとに異なったサイトファイル名をつける

もし PC 内に複数バージョンの Composer をインストールしている場合はサイトファイルの保存を行う時にバージョンを表記しておくことを強く推奨します。これによりバージョンごとの混同がなくなります。

C) ソフトウェアインストールの保存ロケーション設定

Composer ソフトウェアをインストールする際、サイトファイルの保存ロケーションを選択しておくことで複数のバージョンのソフトウェアを使用していてもファイルが混じらず分けることができます。

D) ソフトウェア-ファームウェアバージョンの同期

ソフトウェアとファームウェアは正常に動作するには同じバージョンである必要があります。バージョンが異なる場合はこのリリースノートの手順に従いバージョンを合わせてください。バージョンアップはどのバージョンのファームウェアであっても可能です。

VI) Dante ネットワークのモードの切り替えについて

DSP ユニットの Dante mode が Switched mode に設定されている時に、ケーブルが Redundant 接続 (Primary から Primary、Secondary から Secondary へ計 2 本接続)された場合、Dante モードの変更の失敗やオーディオの損失が発生することがあります。

モードを変更する場合は下記の手順を参照してください。

接続方法によって 2 種類の手順があります。

A – ネットワークスイッチを使用、もしくは 2 台の DSP ユニットのみをダイレクトに接続する場合

1. Dante ポートの接続は Primary ポートのみを使用してください。
ネットワークスイッチを使用せずに 2 台以上の DSP ユニットが接続されている場合は、下記デジタイゼーション接続の場合へ進んでください。
2. Composer 内で、Tools-> Dante Flow Manager->Configure Dante メニューに進んでください。
“Redundant Network”もしくは“Switched Port”から変更したい設定を選択してください。
3. ファイルを Push しオンラインにしてください。
Dante の内部設定を変更しているため普段よりも少し長めに時間がかかります。
4. 接続されている DSP ユニットの電源を落としてください。
5. 新しく設定したモードにあった配線を行ってください。
Redundant Network に設定した場合は 2 台の DSP ユニット間で Primary と Primary、Secondary と Secondary を接続してください。ネットワークスイッチも分ける事ができます。
6. DSP ユニットの電源を入れてください。
7. 再び Push しオンラインにしてください。

B – デジタイゼーション接続の場合

1. 2 台の DSP ユニットの Primary ポート同士のみで接続してください。
複数台ある場合は最初に接続されている 2 台のみで接続してください。
2. Composer 内で、Tools-> Dante Flow Manager->Configure Dante メニューに進んでください。
デジタイゼーション接続は Switched モードのみの対応なので“Switched Port”に設定してください。
3. DSP ユニットが複数台ある場合はサイトファイル内で最初に接続されている 2 台のユニットのみを有効にしてください。
(デザインビュー上で接続されていない DSP を右クリックして“Disable Unit”を選択します。)
4. ファイルを Push しオンラインにしてください。
Dante の内部設定を変更しているため普段よりも少し長めに時間がかかります。
5. DSP ユニットが複数台ある場合は 2 台目の機器を取り外し、3 台目のユニットの Primary ポートから最初に接続されている DSP ユニットの Primary ポートに接続してください。
6. 3 と同様にサイトファイル内で接続されている DSP ユニットのみを有効にしてください。
7. 再びファイルを Push しオンラインにしてください。

8. 全ての機器に 5-7 と同じ設定を行ってください。
9. DSP ユニットの電源を落としてください。
10. 全ての DSP ユニットの電源をデジチェーンで接続してください。
11. DSP ユニットの電源を入れてください。
12. 全ての DSP ユニットの電源を“Enabled Unit”にして再び Push しオンラインにしてください。

※各 DSP ユニットの Dante ネットワークモードはフロントパネルから確認することができます。

株式会社オーディオブレインズ

〒216-0034

神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷 3-1

電話：044-888-6761

<https://audiobrains.com/>

AUDIO  **BRAINS**